

2007年7月～

人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail yoshihara@gold.ocn.ne.jp

6月4日から8日まで「むし歯予防デー」と呼んでいたのが6月4日から10日までを歯の衛生週間とか口腔衛生週間と命名されるようになって、子どもたちから「ムシバの日」があるからムシバになってもいいといわれなくなった。そのせいか「ムシバは激減した」。おかげさまで、口腔以外に目が向けられるようになって、関連性を追及していた人間歯科学研究会が注目されるようになった。研究結果を期待される件数も多くなった。いよいよ本領を発揮する時が来たと言えよう。

はしかの大流行・東京から

平成19年5月までに全国で200人が感染したという「はしか」は予防接種を受けなかったことが原因だろうという。感染から発疹が出るまで平均14日かかるために見落とされることが多いともいう。咳や鼻水、38℃程度の発熱があり、コプリック班が第1・第2大臼歯頰部に出現する。歯科医院に定期的に健診を受けていたら、早期に発見できていたはずである。

小児紫班病（アレルギー性）が日常化？

診療前に口腔内清掃を完全にするために、ユニット上でDr. Angel歯ブラシで2～3分ブラッシングをする習慣にしていると、出血程度によって発見できる。

高齢者肺炎による死亡多発

咀嚼学習とブラッシングによる唾液量を多くして嚥下発達を常に促していないと、誤嚥を生じ気管支炎を生じたり肺炎になって死亡することが多いという。こんにやくゼリーを誤嚥したりノドにつめて窒息死例があったため輸入停止したアメリカの例が国内に生じないことを祈っていたが、7月5日現在子どもも含めて計14人になってしまった。歯科医師の声は届いていたのか・・・。

中国製歯磨剤からジエチレングリコールが・・・

FDA は、子どもや腎臓疾患を患っている人に危険がある可能性を指摘し、中国製歯磨剤の回収を命じた。

ちなみにパナマではジエチレングリコールが含まれた中国産風邪薬が原因で100人が死亡したという。未来ある子どもたちの精神、神経機能の発達を損なったり、寿命を縮めてはならない。

「鼻炎」「風邪」と誤診して「結核」16人に感染拡大

平成19年6月20日、大阪市西成区の高校で結核の集団感染が発生したと朝日新聞が発表。耳鼻科を受診して「アレルギー性鼻炎」と誤診され3ヵ月後内科で「風邪」と誤診されたという。翌日に39℃の高熱を出して救急車で別の病院に搬送され、結核と診断、約2ヶ月の入院という結末に到ったという。

人間歯科学研究会では、来院時口腔清掃を第1としているために、常時鼻呼吸できるか、扁桃は肥大していないか、舌の色や舌苔に変化がないかなどについて、歯垢や歯肉肥大あるいは口内炎や歯肉出血と同レベルで診ることが習慣的になっている。そのため、日常的に全身症を発見し、予防したり専門医に紹介したりして命の灯を消さずにすんでいる患者も多い。歯科定期健診がいかに大切か、歯科医院がどれほど健康の窓口の役目を担っているかが分かる。

－ 地球温暖化がもたらすもの －

大都会から大量に放出される炭酸ガスは、地球を護っているオゾン層に大きな穴を開け、南極大陸は万年雪や氷がとけてあちらこちらに土が顔を出し、空から見ると白い大陸ならぬ黒と白のまだら大陸になっているという。

日本の政治は今やまんだらならぬ泥沼化しており、あとは底なし沼でないことを願っているという意見が多い。

こまったことに、地球や日本国の危険度と同等のレベルまで、個人の口腔内に危険が迫っているということである。歯科界がどれだけ認識しているかが、今後の地球環境を救えるか、個人の口腔環境を守り抜くことができるかの鍵となることは明らかであろう。